

大きな海は、大きなフネじゃなくても楽しめる。
むしろ小さなフネのほうが楽しい! という言い分も。
1~2人乗りのディンギーや、20ft台前半のスマールクルーザーで
セーリングを満喫している方々に、その魅力を根掘り葉掘り聞いてきました。
レースでなくても十分楽しめる最新ディンギーや、パワーボートも紹介します。

江の島沖をゴキゲンにセーリングする
トライマランディンギー、ウエタ
photo by Takuya Neda

小さいフネで、大海原へ
スマールヨットの
魅力、再発見



ついつい笑顔になってしまうのがwetaの不思議な魅力。1人でも2人でも、楽しく飛ばしセーリングを楽しめるのだ

小さなフネの大きな楽しみ

WETA

① ウェタの場合

乗るだけでなぜか笑顔に？ 謎の快速トライマラン♪

ジェネカー装備の快速トライマランディングー weta (ウェタ)。江の島ヨットハーバーを中心に、ジワジワとフリートを拡大するこの艇種。赤や黄色や青に緑。華やかな艇体が江の島沖をキラキラと爆走するのは前から知っていた。では、さっそくこの謎フリートに突入してみよう。

文=中村剛司(本誌) 写真=根田拓也
text by Tsuyoshi Nakamura (Kazi), photos by Takuya Neda



wetaの推薦人

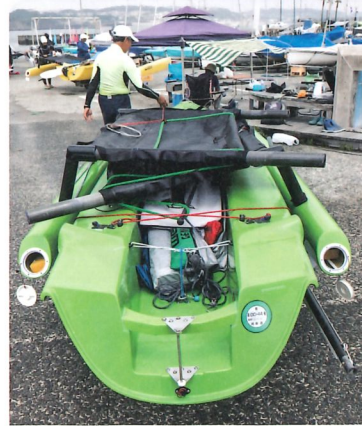
青木 守さん(68歳)

Weta Marine Japan代表。タイガー、ファイヤーボール、テザー、ホビーキャット16などを経て、2012年にwetaに出会う。自身にそっくりのMr.ポテトヘッド人形を愛艇のバウに設置し、世界のレースシーンを駆け抜ける。(赤城)(タカイ31)オーナーでもある。



公式Tシャツには「Life's Better With a Weta」の文字

機装を終え、スロープで出艇を待つweta。スクエアヘッドにジェネカーフェラー。実に戦闘的で楽しそう♪



ウエイトフロートは一つ17kg。簡単に装着できます

ウエイトフロート(アウトリガー)収納時の全幅は1.70mとコンパクト(470の全幅は1.73m)



笑顔が止まらない栗田圭吾さん♪

Fun. Fast. Easy.!



楽しく機装する面々。マストの立て方についてアドバイス中

カメラサービスに余念のない斉藤夫妻♪



江の島沖をセーリング。ブロードリーチでゆったりダウンウインドを楽しむ。3枚張りでもジャイピングは余裕

名物オジサンのトライマラン

江の島には、Mr.ポテトヘッドにソックリな顔をした名物オジサンがいる。バウにMr.ポテトヘッドの人形を装着したトライマランディングー「weta(ウェタ)」で、江の島ヨットハーバー沖を快走する。それが青木守さん。このスタイルのまま、世界のレースに出ちゃったりする(海外のセーラーから、Mr.ポテトヘッド!と親しみを込めて呼ばれている)。こう見えて、wetaの日本販売代理

店Weta Marine Japanの代表だ。ディーラーだが、ディーラーっぽくない。

「ネットでwetaのセーリングムービーを見たとき、これはすごいって思ったね。乗りたい!って。2012年のこと。調べたら日本に2艇あって、エリック・イスンって人が代理店をやった。すぐに野尻湖をベースに活動していた彼に連絡をしたんだ」

その直後、エリックがニュージーランドに帰るといので、その2艇を1艇70万円引き取った。それが今もある黄色と

赤色のwetaだ。

「もうけたい、じゃなくて、wetaを知ってほしいってのが先」と青木さん。黄wetaは、知人の斉藤夫妻にそのまま70万円で譲った。赤wetaは自分で乗った。

「こんなこと言っちゃっていいのかな、言っちゃうけど、俺さ、そのころがんになったの。それでがん保険が300万円おりました。困ったな~と思っていたら、運よく短期間でがんが治った。カミさんに、治療費で残ったお金でweta買っていいかって相談して。で、新艇

われらweta仲間♪ / ちょっと個性的なwetaオーナーさんをご紹介します



斉藤真秀さん、知子さん

●黄weta
元シーラーク乗り

2013年に購入し、シーラークと2艇で活動。2015年からweta一本に。奥さまは競技スキー出身のスピード狂♪



藤田崇夫さん

●赤weta
元505乗り

K16でセーリングをはじめ、505で活躍。ファイヤーボールではベルギー世界選手権出場。ミニトンでも活動。



校條紳一さん

●グレーweta
元RSエアロ乗り

ファクトリーゼロに在籍。Y15、ファイヤーボール、RSエアロなどを経てwetaへ。ヨット歴50年。



竹内孝明さん

●青weta
元ホビーキャット16乗り

カタマランディングー・ホビーキャット16一筋36年。14を買い足す予定だったのに、なぜかwetaを購入(笑)。



栗田圭吾さん

●白weta
元サーファー

純粋なセーリングはwetaが初。セーリングカヤックは少しだけ。元サーファーだけあり、見事な上腕筋!

wetaの 機装紹介

1 ジェネカーファーラー



ファーラーシステムの展開はエンドレスロープで、スターンまでリード

2 カニンガム



バングはなく、カニンガムのみ。シンプルでナイス。ブームレスタイプ

3 ラダー



ビーチング時にうっかり着底しても、留め具が外れ自動で降り上がるシステム

4 ウェイトフロート



後部のハッチ(点検用フタ)。完売したときはここから水を入れて半沈させる

SPEC

- 全長: 4.4m
- 全幅: 3.5m (収納時 1.7m)
- ハル重量: 72kg
- ウェイトフロートとフレーム: 17kg
- セール面積: メインセール 8.3m²、ジブ 3.2m²、ジェネカー 8.0m²
- (問) Weta Marine Japan
TEL: 090-5320-9661
E-mail: aoki@wetamarine.jp
<https://www.wetamarine.com/>

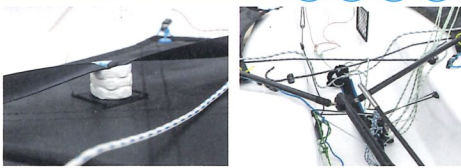
特別機装 青木さん編



ネットをまたいでデッキに一人用のテントを張ってみる。「今年の夏は、これで泊りがけのミドルクルーズってのもいいなあ」と青木さん。自由な人だ♪

レース・スタート風景っぽい写真が撮りたい! と無理なお願いをしたら、スルスルと並んでくださるwetaチーム。皆さん操船の腕は確かなのです

特別機装 栗田さん編



左: ハイアウトベルトを浮かせて、足を入れやすく
右: ダブルエクステンションで49er級風に

の緑wetaを輸入。船台付きで180万円」なんだか話がむちゃくちゃだが(失礼)、かくして青木さんはwetaディーラーっぽい感じになっていった。自分が乗っていた赤wetaは、ファイヤーボール級仲間の藤田崇夫さんに強制的に譲った(笑)。

wetaの魅力を考えよう

大きく宣伝するわけでも営業するわけでもないのに、江の島でMr.ポテトヘッドの人物を付けてセールングしていただけたのに、

wetaは現在6艇も江の島ヨットハーバーに浮く。青木さんから一番にwetaを買った斉藤夫妻、知子さんは「楽しくて速いヨットに乗れるのがいいですね。なのに、ヒールしないのがすてき。あと沈しにくいのも(笑)」。

スクエアヘッド、ジェネカーファーラー、トライマラン。ウェイトフロート(アウトリガー)はそのまま49erのウイングみたい。ジェネカーでかつ飛べて、しかも安全。

竹内孝明さんは、ホビーキャット16から、一人乗りの早い艇が欲しくて14を買って足そうかなと思っていたのに、気が付いたらwetaを買っていた(笑)。栗田圭吾さんは、元サーファー。「パフが入ってグッとスピードが上がる感じがサーフィンみたいで興奮しますね」と栗田さん。

もう一人。びっくりするが、ファクトリーゼ口の校條紳一さんもwetaサーラーになっていた。A級ディングー、スナイプ、FJ、ファイヤーボールなどで活躍し、最近RSエ

weta photos by Weta Marine Japan

ビーチングのある風景

マルチハルの魅力の一つ、ビーチング。今日も上陸できそうな浜を探します♪



会津若松市・猪苗代湖・志田浜



藤沢市・片瀬東浜海岸 茅ヶ崎市・馬入川河口



青木さんの好きなもの、コーヒー。毎回入れてくれます

セーリングのあとは、パースに集まってリラックス。話題はもちろんwetaのすばらしさ。ビーチングできる場所をまた見つけたよ! といった情報交換も



多趣味な青木さんのギターで盛り上がる。最近是一般ウケを考慮し、スピッツやゆずを弾く♪

アロに乗っていると思っていたが、今はwetaだった(笑)。「ハイアウトとか、しんどいじゃん。俺も年だし(笑)。wetaは楽に乗れる。速いし」。なるほど。トップセーラーをも夢中にさせる魅力がwetaにはあるようだ。

この特集の裏テーマは、「学生ディングーを引退したセーラーが、キールボードに出会うまでの間を埋めるちょうどよいスモールボートはないか?」というものなのだが、wetaこそまさにそうなのではないか、と覚えてきた。

本当の楽しさとは

セーリングのあとに、皆さんにあらためてwetaの魅力を知ってもらう。スピードディングーだし、レースが楽しそうだなあと思ったら違って(レースも楽しいが)、クルージングが楽しい! と皆さんは言う。

「青木さんは、江の島から城ヶ島(往復約30マイル)まで行っちゃう。アホだよな」(藤田さん)。「wetaはビーチングできるのが一番の楽しさ。青木さん、最近新しい浜は見つかった?」(斉藤知子さん)。「ビーチ発で鳥帽子岩回航のファンレスなんかも良いですね!」(竹内さん)。なんだなんだ。急にビーチな話題になってきた。

青木さんを中心に、友達同士が秘密基地を探すみたいなテンションで、wetaを使って遊んでいる。なんだか説明がたい、笑顔に満ちた幸せな空気がwetaにはある。パースでお茶をしながらギター弾いたり談笑したり。ビール飲む人、飲まない人。知子さんが、用意した豪華な赤肉メロンをふるまってくれたり。快速トライマランディングー。その遊び方の先には、セーリングを達観した、達人の域の愉楽があるような気がした。気のせいかもしれないけど(笑)。

How much? wetaを始めるには

- 艇体価格: 新艇180万円+税(2019年の価格。船台込み) / 中古艇約70万円(状態による)
- 年間艇置料(江の島ヨットハーバーの場合): 175,170円

※今後weta協会が発足すれば会費が発生するかも。新艇価格にオーニング代は含まれない。ビーチング遊びが中心なら経費はほぼかからない。

TOP3 wetaのココが楽しい!

1. ジェネカートライマランの快走は誰もが笑顔に
2. マルチハルなのでビーチングが楽しい♪
3. 個性的なオーナー同士の交流が愉快



スロープで大集合。もっとメンバーが増えるといいなあ

これぞweta愛。大文字で描いてみました(笑)

